

医療ソーシャルワーク論 (病院生活支援) 研修のご案内

開催日：1日目 2019年 1月 26日(土)
2日目 1月 27日(日)
時間：9:30~16:40(受付:9:00~)
場所：クローバープラザ 西棟5階 セミナールームAB
(春日市原町3-1-7 / JR春日駅下車徒歩2分)



内容：医療ソーシャルワーク論(病院生活支援)研修プログラム(次ページ参照)
※ 講義を中心に演習等を含めた1日6時間の研修となります。
(全日程の参加および2日目終了後のレポート評価での合格を以て修了となります。)

講師：急性期：浦川 雅広 氏(株式会社麻生飯塚病院 医療ソーシャルワーカー)
回復期：牛島 寛文 氏(医療法人共和会 介護老人保健施設 伸寿苑)
慢性期：梶平 幸子 氏(医療法人社団広仁会 広瀬病院 医療ソーシャルワーカー)
在宅医療：内田 浩稔 氏(医療法人みらい 今立内科クリニック ソーシャルワーカー)

定員：30名(但し、定員になり次第締め切ります。)

参加費：会員(福岡県内)10,000円 会員(県外)15,000円 非会員 20,000円

参加資格：社会福祉士有資格者かつ医療現場でソーシャルワークを実践している者またはそれを目指している者(学生を除く)

申込方法：「研修参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXもしくはホームページの「研修会の参加申込受付」でお申込みください。申し込み締め切り後、正式な案内を郵送いたします。その後、指定口座にご入金いただき、確認でき次第受講確定となります。

申込み締切：2018年 12月 23日(日) 必着

研修単位：認定社会福祉士制度：医療分野 1単位 認証番号20170004
生涯研修制度：独自の研修 13時間

※ 主任ケアマネ更新研修の「研修修了状況申告書」の証明を希望される方は、切手を貼った返信用封筒をご用意ください。後日事務局から返送致します。

【お問合せ先・申込先】

公益社団法人福岡県社会福祉士会 事務局 辻・高森
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-9-12 アイビーコートⅢビル5F
TEL 092-483-2944 FAX 092-483-3037
E-mail info@facsw.or.jp

2018年度 医療ソーシャルワーク論（病院生活支援）研修プログラム

【研修目標】	入院患者の相談や課題に対応し、援助を行えるようになる。	
【研修内容】	① 入退院の支援 ② チームアプローチ、多職種連携、組織間連携、ネットワーク ③ 医療機関の機能、社会保障制度等関連法制度	
【全体像】	急性期：急性期医療機関の機能を理解したうえで、社会福祉士として患者や家族の生活困難をアセスメントし、必要な支援を理解する。急性期後の医療機関や介護サービス等との連携方法を学ぶ。 回復期：リハビリテーション病院が対象とする患者像、且つ機能分化した医療提供体制を理解し、社会福祉士として、チームアプローチを展開していく中で支援すべきポイントを理解する。 慢性期：入院患者の状況・ニーズと共に所属医療機関の機能を理解したうえで、患者が必要な医療サービスを効果的に利用できるように支援できる。 在宅医療：入院・在宅患者家族の状況・ニーズとともに所属医療機関の機能を理解した上で、患者が必要な医療サービスを効果的に利用できるように支援できる。	
【1日目】	9:30~12:40 【急性期】	<ul style="list-style-type: none"> ・発症時の心理、アセスメント方法(障がい受容のプロセス)について ・急性期病院で支援の特徴について ・急性期病院での支援困難事例の早期発見について ・講義と事例を通してグループ討議
	13:30~16:40 【回復期】	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬体制、社会資源の理解 ・ソーシャルワーカーの標準業務 ・講義と事例を通してグループ討議
【2日目】	9:30~12:40 【慢性期】	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性期、終末期の医療機関の機能、特性の理解 ・慢性期、終末期における社会保障制度や医療制度の理解と活用 ・慢性期、終末期での入院に伴う患者や家族の心理の理解 ・緩和ケアにおけるソーシャルワークの実際 ・講義と事例を通してグループ討議
	13:30~16:40 【在宅医療】	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、在宅ケア（連携・終末期・事例） ・臨床倫理「意思決定支援とアドバンスケアプランニング」 ・講義と事例を通してグループ討議